

1 前提

該当する地域	県下全域 平坦地
設定した経営規模	アムスメロン12a、ストック12a、初夏ブロッコリー80a、秋冬ブロッコリー180a
自家労働	2.0人
その他	鳥取型低コストハウスは補助事業活用 (1/2補助)

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		◎-----□□□□											

凡例：◎定植、— 栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f) × (G) × 利率
作業場	木造・瓦	50 m ²	3,150,000	4	133,099	133,099	15	8,873	8	62,113	100	2,485
鳥取型低コストハウス	6m×30m	5.0 棟	2,632,500	50	1,316,250	1,316,250	10	131,625	5	658,125	100	26,325
トラクター	25ps・2WD	1 台	2,162,000	4	91,352	91,352	7	13,050	4	39,151	20	313
ロータリー	160cm	1 台	475,200	4	20,079	20,079	7	2,868	4	8,605	20	69
動力噴霧機	可搬式6ps	1 台	281,880	4	11,910	11,910	7	1,702	4	5,104	100	204
灌水装置	2.2ps	1 台	185,850	30	55,755	55,755	7	7,965	4	23,895	100	956
管理機	6ps	1 台	281,880	4	11,910	11,910	7	1,702	4	5,104	100	204
軽トラック	660cc	1 台	1,050,000	4	44,366	44,366	4	11,092	2	22,183	100	887
合計			10,219,310		1,684,721	1,684,721		178,877		824,281		31,443

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
メロン	アムス	ハウス	3,072kg	畑	12a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 員 人 員	延労働 時 間	
定植準備	3/上	ハイフン(粒) 苦土石灰(粒) ミネラル宝素 IB化成S1号 豊作特1号 重焼燐 ネマトリンエース粒剤	100kg 100kg 80kg 40kg 80kg 40kg 20kg	トラクター ロータリー	○全面散布し、耕耘する。	3.0	2	16.0	軽油 9.0
整地・畦立て	3/中			管理機	○作畦、畦幅2.5m、中高とする。	1.0	2	6.0	ガソリン 1.0
マルチ・トンネル	3/中	クレマート乳剤 灌水チューブ マルチ トンネル支柱 トンネルビニール	300ml 一式 400m 360本 400m	動力噴霧機	○除草剤散布(マルチ前全面施用) ○灌水チューブ設置、マルチ、トンネル被覆 ○十分な灌水及び地温確保	0.5	1 2	1.0 26.0	ガソリン 0.5
定 植	3/下	ダイヤキャップ 実生苗	960枚 960本		○植穴切り、定植後にダイヤキャップを掛ける。		2	24.0	
温 度 管 理	3/下~6/下				○活着まではトンネルを密閉する。高温時はハウスの換気を行う。 ○活着後はダイヤキャップを除去する。 ○トンネルは日中は除き、夕方から被覆する。つる配置後はトンネルを除去する。		1	39.0	
灌 水	4/上~5/下			灌水施設	○着果後15日程度は十分に灌水する。 ネット発生前に一時灌水を控える。 ネット発生期はじめに再び灌水を行う。 ネット完成後から徐々に灌水量を減らす。		1 1	12.0 8.0	
支 柱 準 備	4/中	支柱 エスター線 誘引ひも	200本 720m 9本		○エスター線を張り、玉つり準備を行う。		2	22.0	
摘芯・整枝・誘引	4/上~5/上				○本葉4枚で摘芯し、子づるが20~30cm伸びた頃に、揃った子づる2本を残す。 ○本葉10枚前後でつり上げ、誘引を行う。 ○着果節位までの側枝は早めに除去する。 ○主づる23~25節で摘芯。着果づるは本葉2枚を残し開花までに摘芯する。		2	68.0	
交 配	4/下	蜜蜂	2箱		○交配前から蜜蜂を導入しておく。		1	0.5	
摘果・玉つり	5/中	誘引ひも			○鶏卵大頃に、1つる2果にする。 ○摘果後に玉つりを行う。		2	64.0	
病害虫防除	3/下 4/中~6/下	アクトラ粒剤5 ロブテール水和剤 フェス顆粒水和剤 シマンダイセン水和剤 ダコニール1000 アトマイヤー水和剤 アミスター20フロアブル コロイト乳剤	2kg(2g/株) ()は10a液量 100g(100ℓ) 20g(100ℓ) 250g(150ℓ) 200ml(200ℓ) 100g(200ℓ) 100ml(200ℓ) 200ml(200ℓ)	人力 動力噴霧機	○ハモグリハエ類。 ○菌核病、つる枯病、べと病、うどんこ病、ハダニ類、アブラムシ類等の発生に注意して防除を行う。	3.0	2	6.0	ガソリン 3.0
収穫・調製・出荷	6/下~7/上	ダンボール箱 シール等		軽トラック	○交配後55日前後を目安とし、離層発生を確認して収穫する。	3.0	2	66.0	ガソリン 7.0
後片付け	7/中						1	22.0	
合 計								380.5	

5 経営試算(10aあたり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	1,099,776	生産量① : 3,072 kg 単価② : 358 円/kg	
	主産物価額	0	生産量 : 単価 :	
	主産物価額	0	生産量 : 単価 :	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	1,099,776		
生産原価	種 苗 費	122,880		
	肥 料 費	30,357	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	21,850	〃	
	諸 材 料 費	170,112	〃	
	動力光熱費	3,501		
	農 具 費	8,401	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	37,739	建物・構築物負担価額×1%	
	賃 料 料 金	0		
	共 済 掛 金	8,500		
	雇 用 労 賃	13,725		
	減価償却費⑤	149,064	別表のとおり	
	土地改良費	4,615		
	支払地代⑥	0		
	小計 (B)	570,744		
費	販売費一般	出荷資材費	71,418	
	管理費	販 売 諸 費	111,092	
		諸税負担金	2,079	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	1,989	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	637	借入資本利子率2%
		小計 (C)	187,215	
経 営 費 (D)	757,959	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	485,030	農 従 労 働 時 間 : 365.3 生産管理労働時間 7.8 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	1,242,989	主産物単位当たり 405 円/kg 注 (E) = (D) +⑧-④		
自己資本	流動資本利子⑨	21,866	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)	固定資本利子	26,203	利子率4%	
自 作 地 地 代 (G)	5,723			
全算入生産費 (H)	1,296,780	生産物単位当たり 422 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	341,817	時間当たり 916 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	31	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-197,004	注) (K) =③- (H)		
家族労働報酬 (L)	288,026	時間当たり 772 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-143,213	注) (M) = (I) -⑧		

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
元肥施用・粒剤散布							16.0																																	16.0
整地・畦立て							6.0																																	6.0
マルチ・トンネル							27.0																																	27.0
定植								24.0																																24.0
温度管理								2.0	4.0	5.0	8.0	4.0	4.0	4.0	4.0	2.0	2.0																						39.0	
灌水									8.0	2.0	5.0	2.0	2.0	1.0																									20.0	
支柱準備										22.0																														22.0
摘芯・整枝・誘引									4.0	24.0	24.0	16.0																											68.0	
交配											0.5																													0.5
摘果・玉つり													64.0																											64.0
病虫害防除									1.0		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																							6.0	
収穫・調製・出荷																24.0	42.0																							66.0
後片付け																		22.0																						22.0
																																								0.0
																																								0.0
																																								0.0
																																								0.0
																																								0.0
																																								0.0
																																								0.0
																																								0.0
																																								0.0
																																								0.0
計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0	33.0	26.0	16.0	53.0	38.5	22.0	71.0	6.0	5.0	3.0	27.0	42.0	22.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	380.5